

留学レポート 11月

島根大学法文学部法経学科二年 森本蔵人

現在、私はアーカンソー大学に留学しています。到着した当初の9月から10月にかけては気温が非常に高く、毎日30度を超えるような暑さでしたが、11月に入るころから一気に冷え込み、考えられないほど寒くなってきました。朝晩の寒暖差も大きく、季節の変化を強く感じます。

普段の生活は、日本の大学と大きくは変わりません。毎日授業に出席し、夜遅くまで課題や勉強をしています。週末はルームメイトと一緒にアメフトの試合を観戦することが多く、大学全体が一体となって応援する雰囲気に感動しました。私はバレーボール部にも所属しており、試合でアーカンソー州以外の州に遠征することもあります。チームメイトとの交流を通して、英語だけでなくアメリカの文化や価値観も学ぶことができ、とても貴重な経験になっています。

授業以外の時間には、友人たちとハイキングやサイクリング、釣りなどを楽しんでいます。自然が豊かなアーカンソーでは、少し車を走らせるだけで美しい山や湖に出会えるので、リフレッシュするのにぴったりです。

10月末のハロウィンでは、キャンパス全体が大盛り上がりでした。学生たちは思い思いの仮装をしてパーティーに参加し、私もウォーリー(Where's Waldo?)の衣装を着て、友人たちのパーティーを3か所ほど回りました。アメリカのハロウィン文化を実際に体験できたのはとても楽しく、忘れられない思い出になりました。

一方で、中間テストの時期は正直かなり忙しく大変でした。授業内容が難しい科目も多く、勉強の仕方に悩むこともありましたが、オフィスアワーに先生を訪ねて相談すると、丁寧にアドバイスをくださり、一緒に今後の勉強方針を考えてもらいました。先生との距離が近いのもアメリカの大学の良いところだと感じています。

最近では、英語のリスニングにはだいぶ慣れてきて、授業内容や友達との会話もほとんど理解できるようになってきました。しかし、自分の言いたいことを思い通りに表現するのはまだ難しく、これからも努力を続けていこうと思います。

これからアメリカではサンクスギビングの時期を迎え、大学周辺は多くの学生が帰省するためとても静かになります。その期間を利用して旅行に出かける予定です。ま

た、冬休みも同じようにキャンパスが閑散とするので、テキサスに住む友人の家に滞在する計画を立てています。これからもさまざまな経験を通じて、自分の成長を実感できる留学生活にしていきたいです。











